



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ

2018年6月会報

第356号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P) Henry J.Grindheim

主 題: " Let Us Walk in the Light—Together " 「共に、光の中を歩もう」
スローガン " Fellowship across the borders " 「国境なき友情」

アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)

主 題: " Respect Y's Movement " 「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事(RD) 大野 勉 (神戸ポート)

主 題: 2022 年に向け「心身の健康づくりから、クラブの健康づくり」
" Healthy mind & healthy body make healthy club "

副 題: 「今あるクラブを充実させ、しょうらいのクラブへ
宝(財産)を伝承していこう！」

六甲部部長 杉本 隆人(神戸学園都市)

主 題: 「共感しあい、支えあおう」
Empathy each other, Root y's & YMCA

宝塚クラブ会長 武田 寿子

主 題: 「次世代への継承！」Continuity to the Next Generation
地域への奉仕、エネルギーを結集し西日本区大会を
成功させよう

今月のテーマ : 評価 計画

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。
そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、
開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は
見つけ、門をたたく者には開かれる。

(マタイ 7 章 7-8 節)

2018年6月例会

日 時 : 2018年6月13日(水)18:30

場 所 : 宝塚ホテル ゴールドの間

登録費 : 会員3,100円 会員外3,500円、

ドライバー 福田 肇 加藤光信

開会点鐘 武田寿子会長

ワイズソング 全 員

聖書朗読 谷川 尚

祈 禱 青柳美知子

会長・委員会報告

会 食

お話し

・ 1 年間の総括 (各委員長の報告)

・ 「One Camp 支援依頼について」

(神戸 YMCA 三宮リーダー会 3 名)

誕生日のお祝い

YMCA ニュース

閉会点鐘

武田寿子会長

2017/18	会 長 武田寿子 直前会長 若林成幸 副会長 多胡葉子 書 記 若林成幸 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子
役 員	
事 業 委員長	Y M C A サービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 多胡葉子・EMC 若林成幸 交 流・ファンド 石田由美子 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 青柳美知子 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう！	長尾ひろみ(1 日) 若林成幸(3 日) 青柳美知子(5 日)
5 月 実 績	例会出席者数 32 名 在籍会員数 23 名 出席会員数 20 名 出 席 率 86.9% メイクアップ(内数) 3 名 メネット 4 名 コメント・孫メット名、ゲスト・ビジター 8 名 例会充足率 139% B F ポイント 5 月 5,677 円 累 計 37,718 円 にこにこ B O X 5 月 4,000 円 累 計 28,150 円 ファンド (物品販売) 0 円 累 計 43,000 円

会長のことば

5 月 19 日のバザーは皆様のご協力により、感謝のうちに今年も無事終了しました。特に西宮 Y M C A の若いスタッフとリーダーの方々には、バザー当日焼きそば担当や、古着の販売などフルに働いていただき、感謝の言葉しか浮かびません。又、子供たちにゲームで楽しませ、くじ引きなど会場を盛り上げていただきました。

しかし事前の協賛企業回りや、寄贈品集め、



クッキー作り、値段付けや、賞品の振り分けなど、かなり複雑で労力のいるもので、今後もこのファンド作りが継続していけるか、次年度に向けて考えるときが来ているように思いました。会長をお引き受けしてクラブのメンバーのチームワークに助けていただき何とか青柳次期会長にバトンをお渡しできほっとしています。さらに今年度は西日本区大会の石田実行委員長をサポートし、大会成功にクラブ一丸となって取り組めたことは、クラブの結束を固められたと思います。このブリテンが完成するころには大会が成功裏に終了しているはずですが、多忙な行事が多い 1 年でしたが、6 名もの新入会員が与えられたことは幸いでしたが、入会された方々への十分なケアができていなかったのではないかと反省いたします。

武田 寿子

5 月第 1 例会報告

5 月第一例会は 9 日(水)18:30 分から宝塚ホテル・ゴールドの間に於いて、メン 18 名、メネット・コメント 5 名、ゲスト 8 名計 31 名の参加により開催された。ドライバー吉田ワイズの司会で、武田寿子会長の開会点鐘、井上ワイズの聖書朗読、多胡ワイズの祈祷の後、会長報告、委員会報告があり会食に移りテーブル毎に和やかな会話が弾んだ。

今回はスピーカーと講演テーマの関係もあり建築専門家や関学関係者等の参加も多く盛会のうちに会が進められたのは嬉しいことでした。

会食の後、内藤徹男氏により「美しい関西学院キャンパスを探访～ヴォーリスを継いだ 40 年のトータルデザイン～」と題するお話がスタートした。内藤氏は(株)日本設計の代表も務めた建築家として、永きに亘り、関学の建築、又維持管理に関わってこられた。

関学は 1929 年(昭和 4 年)に神戸・原田の森から現在の上ヶ原に移転してきた。当時約 7 万坪だった

敷地は現在約 1.6 倍の約 11 万坪に増え、この間学生数も大幅に増え、新しい建物が次々と建てられた。

しかし、ヴォーリスの理念は崩されることなく一貫して継承されている。その歴史を辿って関学の美しいキャンパス、建築群の写真がパワーポイントにより次々と写しだされ建築の変遷、構造、景観等について詳しい説明が行われた。さすがに建築家の撮る写真はどれも美しく、まさに「キャンパス探访」を満喫させられた。中央芝生から甲山を仰ぐシンメトリックな建物群は見馴れた景色だが、いつも人の心を落ち着かせ、プューアな雰囲気醸し出す関



学のシンボリックな景観だ。そして何気なく見ている壁面や建物を繋ぐ細い小径も夫々の意味を持っている。キャンパス全体に自然感が溢れ、随所に聖書の言葉があらわされている。又いろいろな所にさりげなく身障者への配慮が施されている。

ヴォーリス設計のこのキャンパスは日本の大学の中でも「教育の場」として抜群の環境を誇っている。「環境が人間を育てる」と言われているが、この環境の中でこそ、関学のモットーである「マスタリー・フォー・サーヴィ」の精神が養われ、多くの素晴らしい卒業生が世に送り出されているのだと強く感じたお話でした。

誕生日のお祝いをして武田会長の閉会点鐘で例会を終了した。

吉田 明

5月第2例会報告

5月16日(水)西公民館会議室にて5月第2例会を開催し、武田会長・吉田・若林・長尾・堀江・多胡・小林・福田宏子・青柳・石田・今田・谷川各メン計12名が出席した。議事要旨は次の通り。

1. バザー運営の最終確認

5月19日(土)実施のバザーに関し、お楽しみ抽選賞品が計画通り集まったことが報告され、5/17～18日の準備会及び当日の役割分担を確認した。

2. 6～8月の例会プログラム

6月13日 今年度の活動を振り返り各会委員長の実施報告による反省および課題を話し合う。
神戸YMCA 越生寛子さん外2名を招き

「One Camp」報告を聞く。

7月11日 定期総会として会計報告 及び次期の実施計画を各委員長が発表し協議する。

8月 さんだクラブとの合同納涼例会とし、8/4(土)三田市花火祭り鑑賞を軸にさんだクラブと協議する。

3. 西日本区大会準備状況

参加登録750名弱の申込みがあったが、目標800名を目指しさらに集客努力を続ける。

六甲部メン・メネットには種々の役割を分担、リハーサルを5/25に行う。

4. 六甲部役員引継会の報告

5月15日(火)神戸YMCAにて六甲部の現・次期役員の引継会が行われ、宝塚から武田会長・青柳次期会長・鯖尻(広報)・若林(EMC)が出席した。六甲部長の方針発表の後、次の2つの懸案事項の説明が行われ、若干の意見交換をした。大田次期部長から第1回評議会(7月7日)にて賛否を問う旨、表明があり、各クラブに持ち帰り報告・検討することとなった。

(1)瀬戸山陰部(5クラブ・63名)の六甲部編入の件過日行われた瀬戸山陰部評議会での「瀬戸山陰部を解消し、六甲部と合流」決定に基づき六甲部長に申し入れがあった。六甲部評議会承認を得た後、特別委員会を設け規約改正・諸条件を整備し9月頃に正式提案される見込。

(2)「六甲部特別積立金」の設定について
3/24開催の第2回評議会で上程され、採決により否決された案件の焼き直し版。当年度の決算上、約100万円の剰余金が見込まれることから、その一部70万円を「特別積立金」として蓄え、将来に予想される理事活動費用に充当する、というものの。

5. ブリテン6月号の編集方針・作業日程について
長尾編集長の提案に基づき寄稿者の分担、作業日程を確認した。

6. その他の報告

①さんだクラブ創立25周年記念例会 6月23日(土)14時。郷の音ホールほか。会費4000円

②神戸YMCAラオス・ワークキャンプ実施と支援金拠出について谷川連絡主事から、暫

時中断していたタイ・ワークキャンプの代替事業の説明と資金拠出の要請があった。趣旨説明が不十分との意見が出され、詳細説明の提示を求めることとした。

若林成幸

他クラブ訪問

～3 ワイズ 70 周年記念合同例会～

(広島、西宮、近江八幡クラブ)

5 月 12 日(土) 11:30～ ホテルヒューイット甲子園で広島、西宮、近江八幡の 3 ワイズ合同 70 周年記念例会が開催された。3 クラブのメンバーを中心に主に西日本区のクラブから総勢 150 人が参加。

宝塚クラブからは武田会長、青柳、石田、今田、堀江、吉田、若林、多胡の各ワイズ八人が出席。

第一部は記念式典が広島クラブの今坂豊美会長の開会点鐘で始まった。その中で西宮クラブにお二人の入会式が三科 EMC 事業主任、若林六甲部 EMC 事業主査立ち会いのもと行われたことはとても嬉しい内容の一つであった。そして 3 クラブからそれぞれの支援 YMCA に記念品の贈呈がなされた。

近江八幡クラブ岡田定一会長の閉会点鐘で第一部が終わり、その後すぐに集合写真撮影がなされた。

第二部の懇親会は二階の会場に移動。西宮クラブの濱浩一ワイズの司会で記念コンサート

が始まった。ソプラノの並河寿美氏、バリトンの森俊美



氏、ピアノは関口康祐氏。三人によるコンサートはその歌唱力、表現力の素晴らしさに、全員

息を吞んで聞き入った。特にピアノ伴奏によるお二人のオペラ「セヴィリアの理髪師」より「私は街の何でも屋」はその歌声に魅せられた。短い時間のコンサートであつたという間に終わってしまったが、このコンサートが聞けたこと自体出席できたことをとてもラッキーに思えた。そのおかげで続く交流も、お食事も一段と私たちの心を豊かにしてくださったことに繋がり、素晴らしい、記念例会だった。最後に西宮クラブの岡田佑一郎実行委員長の挨拶で閉会となり散会となった。

多胡葉子

～神戸ポートクラブ創立 30 周年記念例会、被災地復興支援チャリティーコンサート～

4 月 28 日(土) 午後 1 時半より始まった神戸ポートクラブ創立 30 周年記念コンサートは神戸 YMCA 三ノ宮会館チャペルいっぱいの参加者であった。

オープニングはポートクラブの支援先の職業訓練校カレッジの皆さんのトーンチャイム、神戸 YMCA 混声合唱団「くさぶえ」の 3 曲で、メインは珍しいフルートとハープのデュオで、聞き覚えのある耳にやさしい曲とそれぞれの楽器の素晴らしい音色に引き込まれ、時を忘れそうになった。

第二部の記念例会の式典と懇親会は YMCA からすぐのグリーンヒルホテルであり、西日本区理事の大野勉さんのホームクラブだけに遠方からの沢山のゲストで埋まった。各方々の祝辞の後ポートクラブの支援先の一つである、希少難病を患う山本育海さんへの当日集まった支援金をお母さまへ贈呈があった。

次々出てくる食べきれないご馳走にも心をうばわれながら、同席の神戸クラブの面々と楽しい時を持てた私にも良い日になった。

ポートクラブの皆さんが心をつくし、しかも、楽しそうに弱者の方々の支援をされている姿に乾杯を送ります。

青柳美知子

6 月例会スピーカー
プロフィール

竹内文乃リーダー(神戸女子大学 2 回生)
松谷優花リーダー(親和女子大学 2 回生)
越生寛子リーダー(関西学院大学 3 回生)

第38回神戸YMCA
チャリティーゴルフ

第38回神戸YMCAチャリティーゴルフが、今年も千刈カントリークラブで雨にもかかわらず、44名の参加を得て和やかに開催されました。毎年春と秋に2回、神戸YMCAの活動を支えるリーダーたちの育成資金やその時々災害支援のために行われています。また、経済的に援助を必要としている家庭のYMCAプログラム参加費としても用いられています。宝塚クラブからは堀江ワイズと私の二人、芦屋クラブの柏原、島田ワイズと4人楽しいラウンドができました。次回はジャパンメモリアルで10月24日に開催予定です。ぜひゴルフをなさる方はご参加ください。

武田寿子



第31回宝塚YMCA・ワイズメンズクラブ チャリティバザー

5月19日(土)に改装なったばかりのアピア3で行なった、第31回宝塚YMCA・ワイズメンズクラブのチャリティーバザーはやっとの好天にも恵まれて賑やかな一日となり、無事終えることが出来ました。

毎年このバザーは準備に時間と手間もかかり、結構大変ですが、協賛企業回りを手分けして、知恵と労力を皆が精一杯出し合って成功に結べたと思います。



蚤の市で気が付いた事は、一日声を上げて呼び込みをして下さった井上聖さんと西川君。初めての経験なのに、実によく働いた若い服部拓磨君、又腰痛を抱えて笑顔と共に三日間フルに動かれたレジエンドの今田和子姉の姿でした。売れ様も古着含めてまあまあでした。

食べ物コーナーでは若林メネットをリーダーとして焼き上げた100袋のクッキーや手作りぜんざいも売り切れたが、飲まず食わずで焼き続けて下さった、おいしかった焼きそばは少々売れ残った。リーダーのゲームコーナーも小さな子供たちで賑わい、抽選会も谷川さんの司会よろしく楽しく、もくもくと整理して下さいったリーダーの皆さんのお陰で無事終えることが出来ました。



準備段階で楽し気できれいなポスターを作って下

さった重松えみりさん、前日から構えてお手伝い下さった元メネットの今西時子姉、毎年の応援隊の石田聖子さん、山本真琴さん、我がクラブの友人小仁恵子さん本当にありがとうございました。

大きなバザーを皆で力を合わせて成し遂げる事は実に楽しい事です。又景品を当てた皆さんが「宝くじを当てたよう」と喜んで下さったり、「来年もあるのですか?」と聞いて



下さる近隣の方の声を聞くと疲れも吹っ飛ぶ気がしました。

暖かい眼差しで見守って下さった周りの商店街の方々、毎年沢山の協賛品を提供下さる企業の皆様、又抽選券を買って下さった沢山の方々それぞれに心からの感謝を申し上げたい。

青柳美知子

摯な思いで神に祈り求めるならば、その願いは必ず聴き届けられるということなのです。実際、「祈りは聴かれる」という言い回しは、キリスト者の間では決まり文句のようになっており、多くの信仰者は特に抵抗を感じることなくこの言葉を受け入れているように思われます。しかしその一方で、それらの信仰者も、敬虔な信徒がどんなに熱心に祈っても叶えられない祈りが無数に存在するを経験的に知っています。事実ここでは、熱心に祈りさえすれば、どんな願いも文字通りに叶えられると言われているわけではありません。むしろ熱心に祈り続け、真剣に神と向き合い、対話を続けていく過程の中で、その祈りの内容が最終的に神の御心に適うものへと変えられていくということがここには示されているのでしょう。

嶺重 淑

【今月のみ言葉】

「求めよ、さらば与えられん」という聖書の言葉は日本でも広く浸透しており、キリスト教に特に縁がない人にもよく知られています。そして、この言葉に対する多くの人の反応は、「現実にはそんなこと信じられない」というものでしょう。確かに、求めるだけで自分の欲しい物が何でも与えられるのなら誰も苦労しませんし、こんな楽なことはありません。しかしもちろん、この聖書の言葉は、求めさえすれば何でもすぐに与えられると語っているわけではありません。

まずこの言葉が、祈りの文脈において語られていることを確認しておく必要があるように思います。つまり、ここで言われているのは、真

YMCA だより



日の入りがすっかり遅くなり、夕方園児が帰っていくのを見送っていても、時間の感覚がわからなくなって、ついつい「もう帰るの」と声をかけてしまうようになりました。暑さに身体を少しずつ慣れていき、子どもたちは夏を迎える準備万端です。6月のYMCA ニュース、報告します。

1. 神戸YMCA定期総会のご案内

神戸YMCAの1年間の歩みを振り返り、新年度の方針・計画を共有させていただく機会として、神戸YMCAでは定期総会を行っています。総会構成員の皆様にはぜひ出席いただくようお願いを別途させていただいていますが、何卒よろしくお願い申し上げます。また総会構成員以外の方も列席して一緒に感じていただければと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

日 時: 6 月 29 日 (金) 18:30～

場 所: 神戸 YMCA 三宮会館チャペル

2. 神戸YMCAラオスワークキャンプ支援依頼

神戸YMCAでは故今井鎮雄氏がつながりをつくり、1984 年から 2016 年まで 32 回、タイチェンマイYMCAと協働して「タイワークキャンプ」を実施してきましたが、タイ国内のインフラ整備が進んだことやコミュニティ課題の変容もあったことも受け、プログラムの見直しを行いました。特に 2005 年からはラオスに正式にYMCAが設立され、農村開発支援事業実施の要望があったこと、タイチェンマイYMCAもラオスYMCAの支援にこれまでも関わっていたことを受けて、2018 年よりチェンマイYMCAと引き続き協働して、ラオスのルアンパバーンでコミュニティ開発や次世代の指導者育成に取り組むべく「ラオスワークキャンプ」を実施することになりました。

ラオスは国連開発計画においても、東南アジア地域で最も閉鎖的な国とも示されていますが、その地においてタイチェンマイYMCAは地域の持続可能なプロジェクトを政府とも提携して行っています。その中でワークキャンプでは、コミュニティ開発センターの建築や日本・タイ・ラオスのユースのつながりをつくる活動、またラオスの文化に触れ学ぶ機会となるよう活動を行う予定です。

タイワークキャンプを振り返れば、その参加者には多数今現在も神戸YMCAのみならず行政やNPO活動の奉仕者・指導者となり、今の国際活動、コミュニティ活動を支えているという、貴重なユース育成活動であったと評価できます。

タイワークキャンプ実施の際は、様々な境遇にあるユースリーダーなどYMCAに連なる方が参加できるようにと、ユースリーダー育成支援も含めて、過去 30 年以上ワイズメンズクラブにも支援をいただけてきましたが、今回のラオスワークキャンプも同様の使命を掲げて実施をしていきます。ぜひタイワークキャンプ同様にラオスワークキャンプについてご支援を賜りますようお願いいたします。

(ラオスワークキャンプ概要)

日程: 8 月 19 日～26 日

キャンプ地: ラオス国ルアンパバーン地区

内容: ワーク・交流・異文化体験

支援内容依頼については例会でお伝えします。

3. One Campについて

「多様性を認め、受容する社会を実現する」というミッションのもと、神戸YMCA・京都YMCA・京都YWCA合同で、身体的・心理発達の・精神的・社会的に異なる境遇で生まれ育った人たちが、ともに過ごす経験をするキャンプを実施しようと、神戸YMCAではキャンピングサービスセンターが中心となって呼びかけを行っています。

その参画者であるユースリーダーが 6 月例会でお時間をいただき主旨説明を説明させていただきます。ぜひ、新たなチャレンジについて参画や支援、などご検討いただければと思っています。よろしくお願いいたします。

第 21 回西日本区大会 実行委員会コーナー

最後の実行委員会となるはずの第 17 回実行委員会が 2018 年 5 月 21 日(月)、通常より 30 分早く、18 時から神戸 YMCA で開催されました。

当日の各業務には何人必要か、誰に任せるか、既に決めたことですが再度調整が必要になりました。800



名近い参加者を 118 名の六甲部メン、メネットで対応するには人数的に難しい部分がありますが、大野勉理事の思い通り、「神戸らしい大人のお洒落なおもてなし」を実現できるように心を一つにしたいと思います。



予想通り最後の委員会とはならず、大会直前に最終の「最後の」実行委員会を開催することになりました！

このブリテンが発行される時は既に大会終了後になり、果たして私たちが目指した通りの大会になったか、大変気になるところですが、大成功を信じてプラス思考で迎えましょう！

実行委員長 石田由美子